

University of Redlands

レッドランズ大学

所在地
1200 East Colton Ave., Redlands, CA 92373-0999, U.S.A.
ホームページ: <http://www.redlands.edu/>

主な対象学部
外国語学部・学部留学

沿革 ロサンゼルスから東へおよそ100キロに位置する。バプティスト派の人々によって1907年に創立された私立大学。学生数は約2,410名。本学との交流は1975年に始まり、交換留学制度による両大学の在学学生や教員の交流が続いている。また毎年レッドランズから日本語専攻の学生訪日団が本学を訪れるなど、短期的な交流も行っている。

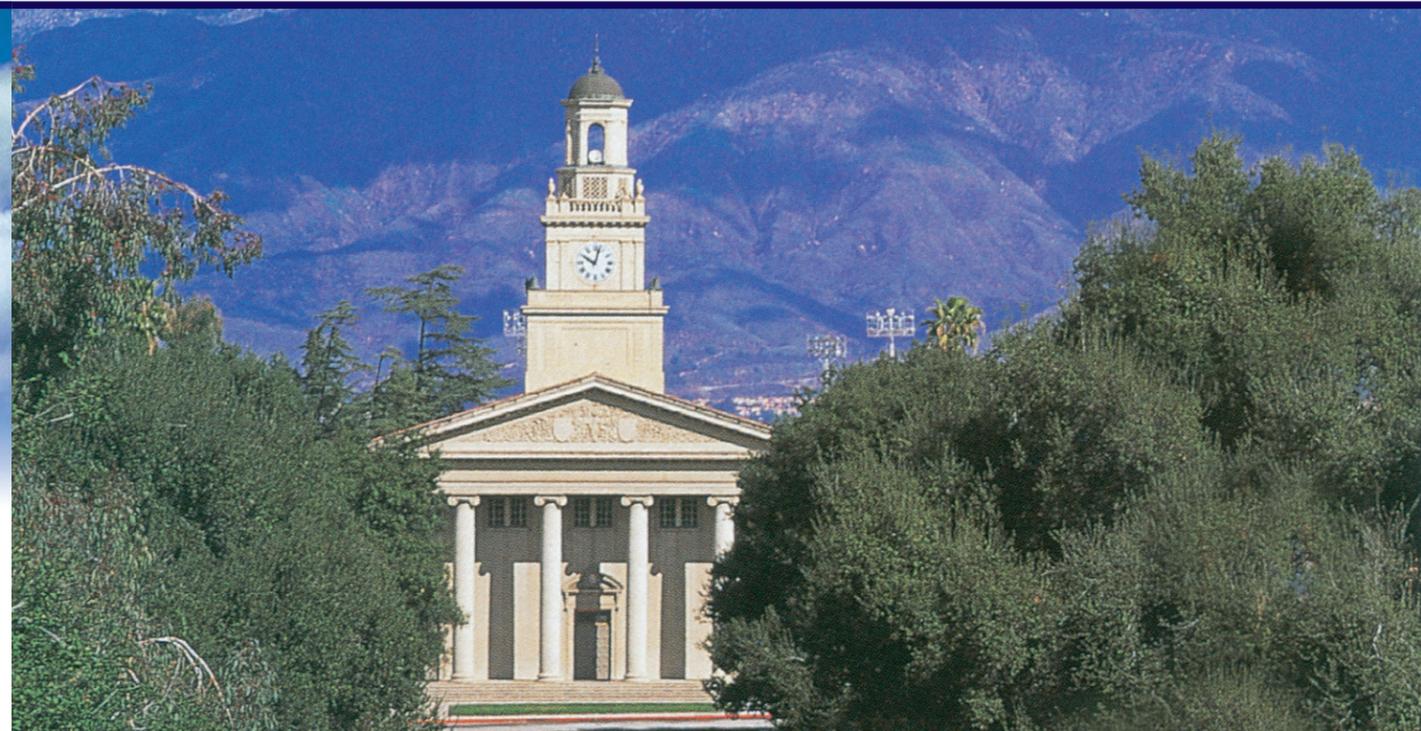
特色 レッドランズ大学の正規の授業科目が全て履修可能。留学した年次・各自の選択によって履修科目および認定科目が異なる。教養学部には語学、文学をはじめ、自然、社会等の40以上の学科がある。音楽・演劇など芸術系の授業や学生生活が大変盛んである。授業料免除制度がある(1~2名、1年間)。

宿泊 キャンパス内の寮に入る。レッドランズ大学の学生との相部屋。男女混合寮、男子寮、女子寮と分かれていて、希望できる。

生活 ロサンゼルスから車で2時間弱の距離にあり、自然環境・治安は抜群に良い。ディズニーランド(車で1時間)の他に、パームスプリングスにも近い。歩いて20分位の所に、食料品店、もう少し歩くと、映画館と小さなショッピングモール、レッドランズのダウンタウンに行ける。レッドランズ市内に出かける時は、キャンパスからシャトルバスが出ていて、電話で頼むことができ、無料で送迎してくれるのでとても便利。

条件 英語専攻専任教員の推薦が必要。TOEFL (ITP) 500点 (iBT61点) 以上。

留学時期 2年次または3年次第2学期から1年間。



教室棟



寮



構内

レッドランズ留学体験記

外国語学部英語・英米文化専攻 2015年留学 佐伯 亮哉

アメリカのカリフォルニア州にあるレッドランズ大学に約1年留学して本当に良かったと思います。英語圏に行くのは初めてで何もかもが新鮮で、時には慣れないことに挫けそうになりましたが、この留学中に多くのことを体験して英語力は自覚できるほど上達し、それと共にコミュニケーション能力や独立心を養うことができ、視野が広がったと感じています。ただしアメリカ人は個人主義で、授業では仲良く話していても授業が終わると他人のように帰る人が多く、授業で友達を作るのはなかなか大変です。

しかし、レッドランズでは意識の高い学生が多く、社会的問題に関するイベントや、環境に関するイベントに参加し、また学校が用意する

フィールドトリップやアウトドアプログラムにはできるだけ積極的に参加するようにしていました。その中で一番印象に残っているのがアイデンティティーや社会構造について議論するキャンプです。留学してから1ヶ月ほどたった時にアメリカ人の学生に「アメリカ人のアイデンティティーを学びたいならこのイベントに来なよ!」と誘ってもらいました。いざ行くと男女共同の8人部屋でバスルームも男女20人共同で、皆これが普通かのように振舞っていたので、アメリカに来て初めてのカルチャーショックを受けました。しかし、アメリカ人がアイデンティティー、社会、ジェンダー、人種、政治などについてどのように考えているのかがディスカッションを通してわかったのが、とてもためになり自分の価値観を見直すきっかけになりました。

またカリフォルニアはアジア系が他の州と比べると圧倒的に多いので、カリフォルニアにいても英語が話せれば外国人扱いをされることはとても少ないと感じました。また色々な国からの移民がいるので、英語を十分に

話せない人や強いアクセントを持っている人も少なくなく、色々な英語に出会えます。またヒスパニック系の移民が多いです。州ごとに様々な特色があるのがアメリカの醍醐味だと思います。

レッドランズ大学の授業は留学前から厳しいと聞いていたのですが、想像を絶した厳しさでした。1学年で留学生は20人以下しかいないので留学生に対するサポートしてくれる先生はいませんが、まったくアメリカ人の学生と同じ扱いをする先生もいます。レッドランズ大学にはESLがなく、全ての科目がアメリカ人と一緒に受ける通常のクラスなので、英語でアカデミックな内容がある程度聞き取れなければ全く授業についていけません。全くパワーポイントや黒板が使われず聞き取った内容を全てメモしなければいけない授業もありました。また全ての授業が少人数制で多くても1クラス25人程度なので大体のクラスがディスカッションをベースとしたクラスで、毎日大量のリーディングを読み、予習して授業に望まなければいけません。リーディングが多すぎるので質よりも

量が優先になってしまい、わからない単語を調べている間に合わない時もありました。しかしそれをこなしていくうちに自分の英語が自然と上達していつか感覚があったので頑張ることができたのだと思います。アメリカ人の友人も忙しい中、時間を割いてエッセイを添削してくれてとても感謝しています。また、友人と遊ぶのはスピーキングが練習できる良い機会なので、勉強で忙しい時もある程度は友達付き合いを大事にし、勉強と遊びのいいバランスを取ることが大事だと思います。

実際に留学に行ってみて、留学先で自分がどれだけ頑張れるか、マイノリティーとしてたくさんを経験する覚悟があるか、また自分がある程度変えられることが出来なければ何も得られないということがわかりました。自分から変化を求め、何かを自発的に始めようとしなくても得られるのは多くありません。失敗をして恥ずかしい思いをしてでも自分から行動を起こすことが重要だと体感しました。そうすることで新たな目標ができ、それを達成することで成長していくものなのだと感じました。